

案件化調査

インドネシア共和国 インドネシア営農集団(クロンポク・タニ、ガポックタン) コメ収穫後処理技術向上計画にかかる案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業: 静岡製機株式会社
- 提案企業所在地: 静岡県袋井市
- サイトC/P機関: 中部ジャワ州クラテン県
農業省研究開発庁 農業工学研究開発センター
サン・ヤン・スリ農業公社



乾燥機



籾殻燃焼炉

インドネシア共和国の開発課題

- 地方経済開発による格差是正
- 農業分野の国家政策「食糧増産」の促進のため、コメ収穫後ロスの改善(収穫後処理技術の向上)を通じた完全粒精米歩留の向上、農業開発を通じた農業ビジネス拡大、農作物の高付加価値化
- 経済開発、農業開発を支える設備・インフラの整備

中小企業の技術・製品

- 自動水分計付循環型乾燥機
乾燥中は定期的に水分をモニターし適正水分値で乾燥機を自動停止させる。
- 籾殻燃焼熱風発生装置
乾燥処理施設で排出される籾殻を燃料として乾燥熱源を生成する。燃料費の低減につながる。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 普及・実証事業:
収穫籾品質を向上させ、胴割れ・乾燥ムラ・過乾燥の少ない乾燥技術・品質管理技術を導入して収穫後処理ロスを低減し、完全粒精米の歩留を向上させることで、食糧増産に寄与する。
モデルとなる営農集団の技術・経済・ビジネスマインドの実態を把握し、適正な営農集団向けの収穫後処理施設・システムを提言し、営農集団による運営を実現することで、米の高付加価値化を実現する。

日本の中小企業のビジネス展開

- コメ用自動水分計付循環型乾燥機を軸に、中小規模収穫後処理施設の推進・普及を展開する。
- 今回のプロジェクトで得たネットワークを活用し、当社得意技術である農産物の品質評価・測定分野の調査を行ない、茶成分分析計やコメ成分分析計の普及を図る。
- 自動水分計付循環型乾燥機や籾殻燃焼炉を、インドネシア現地メーカーと現地生産し、米成分分析計・茶成分分析計など当社製品と組み合わせ、東南アジア諸国へのビジネスを展開する。